



# 日印ビジョン2025 特別戦略的グローバル・パートナーシップ 世界とインド太平洋地域の平和と繁栄のための協働 (日印共同声明の概要)



平成27年12月  
外務省

## 1. 深淵かつ広範な行動指向のパートナーシップのためのビジョン

- 日印は、日印特別戦略的グローバル・パートナーシップを深淵で広範で行動指向の関係に移行
- 主権と領土保全、紛争の平和的解決、民主主義、人権、法の支配、開かれた貿易体制、航行の自由等の原則確保
- 2025年のインド太平洋地域の平和、安定、発展のために共に取り組むことを約束(政治、安全保障、経済、文化、人的交流)
- マラバル訓練への参加、防衛装備品・技術移転協定、軍事秘密情報保護協定の締結を歓迎
- 日印米・日印豪三カ国対話等促進、戦略的な連結性に関するイニシアチブの推進
- 日印原子力協力協定の合意を歓迎。必要な国内手続に関するものを含む技術的詳細が完成した後に署名。

## 2. 各論

### (1) 未来への投資

- インフラ：ムンバイ-アーマダバード路線に日本の高速鉄道技術(新幹線システム)導入に係る覚書署名を歓迎。鉄道技術協力覚書。  
①チェンナイ及びアーマダバードにおける地下鉄事業(約1000億円)、②北東州における道路網連結性改善、③ベンガル周辺環状道路、④ジャルカント園芸灌漑、に対する円借款供与の意図を表明(平成27年度4000億円のODAを期待)。
- 投資促進：①「日印投資促進パートナーシップ」(昨年発表の5年間3.5兆円の官民投融資)の着実な実施、②「日印メイク・イン・インド特別ファシリティ」(NEXI及びJBIC、最大1.5兆円)を歓迎、③金融規制改革、ビジネス環境改善、④日本工業団地(JITs)等開発特別パッケージ、⑤「ジャパン・プラス」の取組評価、⑥日印モノのインターネット(IoT)投資イニシアチブの表明。
- エネルギー：高効率で環境に優しい石炭火力発電技術及びクリーンコールテクノロジー(CCT)等による協力促進。
- 科学技術：①「日アジア青少年サイエンス交流プログラム」、②ICT分野の共同研究センター、③共同フェローシップ・プログラムを表明。
- 人的交流：①インド若手人材1万人の訪日招請(今後5年間)を表明、②自治体等交流(京都・ウアラナシ)と仏教・民主主義セミナー。

### (2) 平和と安定のためのビジョン

- 安全保障・地域情勢：国連海洋法条約を含む国際法、武力行使又は威嚇によらない紛争の平和的解決、航行及び上空飛行の自由、公海における妨げられない通商活動の重要性を強調。  
南シナ海における変化に留意。地域の緊張に繋がる一方的な行動を回避するよう呼びかけ。  
あらゆる形態のテロを強く非難。  
北朝鮮の核問題を懸念。拉致問題への可能な限り早期の対応を要請。  
国際協調主義に基づく「積極的平和主義」及び「平和安全法制」等の日本による努力とインドの支持。
- グローバルな課題：国連改革、取り分け安保理改革の早期実現のために協働。  
日本は、インドのAPEC参加を支持。  
核兵器廃絶に向けたコミットメントを再確認等。